

大東亞建設調査資料(講演)

ビルマ事情

(昭和 17 年 7 月 17 日大東亞建設調査委員會に於いて)

福 島 弘*

私がビルマに参りましたのはずっと以前のことでございまして、最近の事情に就きましては皆様と同じやうに新聞紙上のニュースで知つて居るだけでございまして、併し今日迄あの新聞のニュースを見ます時に、前のビルマを語つて置きましたならば、今日のニュースが非常に面白く味へるだらうと思ひますので、戦前のビルマの御話を致すので、その積りで御清聴を御願ひ申し上げます。

實は私は明治 38 年にビルマに参りました、當時はビルマが完全に英領になつた丁度 20 年目の時分でございました。一體ビルマと云ふ國は紀元で申しますと今年は 1304 年と申して居りますが、それは何かの記録の間違ひで非常に年数が少なくなつたさうでありまして、矢張り日本と同じやうに 2 千何百年以上の歴史や形跡が残つてゐるものがあるさうでございまして。つひ今から約 200 年以前と云ふものは各州に王様がありまして、其の人種は或は安南、カンボヂヤの方面から來た者、或は今のタイの方から來た者、或は支那方面から南下して來た者と云ふやうに、各地から來た者に依つてビルマ人が出來、そのビルマ人の間に戦争ばかりがあつて所謂戰國時代が實に長く續いて居つたのであります。その間に支那の方からは元がビルマの中央迄も攻入りまして 250 年間もバガンと云ふ所を占領して、支那の領分として居つたやうなこともあるやうに、今から 200 年以前迄は非常に戰國時代が續いたもので、従つて今日のビルマ人は喧嘩好きの戦争好きの人間であります、さう云ふやうな古い國であります。それで約 200 年前にビルマの北から参りましたビルマ族のアランベヤと云ふのが四圍の王様を倒して、1757 年に一つのビルマ王國を當時のヤンゴンに立てまして、これが約 130 年間續きました。それが遂に英國の陰險な策に依つて二三度戦争を致しましたが遂に滅ぼされてしまひ、1885 年に當時の王様はボンベイ地方に島流しにされて、遂に王様の系統がなくなつてしまひました。それで私が参りましたのは、王様がボンベイに流されて完全に系統がなくなりましてから約 20 年目でございましたので、まだまだ田舎の方ではあちらこちらに反亂をして居つたやうな話もありましたが、併し當時の國民そのものは王様政治を餘り謳歌してゐなかつた模様でありまして、私が關係しましたビルマ人に話して見ましても、別段英國人の支配になつたと云ふやうなことを残念にも思はないで、却つて官吏などに任用されて偉い者になれると云ふやうなことになつて喜んで居りました。それは英國の官吏に採用される譯でもあり、一つにはお役所の御役人と云ふものはビルマ人を多く使つて澤山の月給をやつて居りましたから、非常にイギリスを謳歌して喜んで居たやうな状態でありました。當時はさう云ふやうな國民でありました。

一體ビルマと云ふ國は御承知の通りタイの國とずつと境を接して居りますが、この間は非常に高い山脈でございまして、殆ど山を越えてタイからビルマに行くことと云ふことはむづかしかつたのでございまして。唯私共が話に聞きますと、密輸入をする連中が荷物を周到に積んでこの山を越えてビルマに入つて來たと云ふやうな話を聞きました。

* 日本水道株式會社專務取締役

今度の作戦に我が皇軍はビクトリアポイントからビルマの海岸に入つて戦争するものであらうと思つて居りました。所が日本軍はダヴオイと云ふ所へタイから山を越えて行つたのであります。昔の密輸入をして居た道と云ふものはあつたのでありませうが。又その上のコーカレーと云ふ此處には河がございまして、或程度迄は自動車も通つて居ります。そこにはタイ國の方に出入りする税關もあります。それからずつと上りますと、こつちの方は険しい山がありまして殆ど交通が出来ない状態でございます。唯ケントンと云ふ所はバスが通つて立派な道が出来て居りますが、タイ國の方にはまだ續く道が出来て居りませんでした。その北はメコン河で繞る北の方は是は雲南省の境で援蔣ルートの所で非常に道の悪い所であります。又この邊から北の方に參りますと大雪山脈と申しまして殆ど人跡未踏の地だと云ふやうな非常に険阻な所であります。西の方に參りますとアラカシ山脈と申しまして、是が又非常に険しい山で、今でも人跡未踏の地が澤山あると云ふやうな険阻な土地でございます。それから南の方は海岸線が1200哩ございますが、併し河の爲にこの邊は上海の揚子江みたいに30哩或は40~50哩も眞つ赤になつて海が淺くなつて居ります。さうして昔から土砂が流されて來て海が岡になつたので、非常に淺瀬が多くて、船長さんなんか航海するのに非常に不便で困ると云ふやうな所であります。このイラワヂ河の三角洲を通りまして、ラングーンを通りモールメーン、ダヴオイ、マガイー群島あたりは丁度瀬戸内海のやうに大變小さな島もありまして、海の水もよくて景色が宜しい所であります。それからビルマには一番經濟的にも關係のあります大きな河がございます。これは御承知の通りイラワヂ河と申しまして、水源を大雪山脈と申します北部の方から來るのであります。實に大きい河で、河口は丁度8つの口に分れて居りまして、本流にイラワヂと云ふものがございまして。上ビルマの北の方にパーモと云ふ所がありますが、此處迄が約1000哩ございますが此の間は1500t位の河蒸汽でありますけれども通つて居りましてお客だとか荷物だとかを運んで居ります。このパーモからミイトキーナと云ふ所迄は300t位の河船は通つて居ります。この河の沿岸が御承知の通り米、豆、棉の出来る所でございます。この河口近くに參りましてバッセーン港と云ふのが西の方の側にございますが、これは米の輸出港になつて居りますが、河の中間にありまして、河口からは40~50哩上つた所にあります。それからラングーンも矢張り河口から遡ること340哩であります。さう云ふ風にこのイラワヂ河はビルマに取つて見逃すべからざる河でございます。その外にはサルウィン河と云ふイラワヂ河より小さい河がございます。これは餘り水便はございませぬが、河口のモールメーンからほんの僅かの舟航の便はありますがそれから上は急流になつたり、岩があつたりして、さうビルマの爲にはなつて居る河ではございませぬ。それで此處に薄く色が付けてございまして、これは北と南のシャンステート州と申しますが、是はビルマ領ではございませぬので、昔は獨立王國の集りでありましたが、英領になる時に是は半獨立國として、マレーの王様領みたいになつて、50何人の王様があつて各自税金も取立て裁判も各個にやつて居ります。但し英國の官吏が居て外交とか軍事の事は英の理事官がやつて居りますが、ビルマの政府からは全然無關係であります。唯ビルマ總督が其の長をやつて居ります。別にビルマ政府の指揮は受けて居らないのであります。

それからこのビルマの氣候でございますが、御承知の通り熱帯でございますから、先程の御話にもありましたやうに暑いには非常に暑いのであります。が併しビルマは雨期と乾期とに分れて居ります。5月の初めから雨が降り始めまして、10月の末、即ち6ヶ月雨が降ります。あと6ヶ月は旱であります。雨期と乾期が半分宛になつて居ります。その雨期の間は雨が降りますので先づ溫度も下つて參りますが、併し濕度が非常に多くなりまして、私共は却つて暑い時の方がいゝやうな氣持が致します。その雨の降り方も日本の梅雨とは違ひまして、日本の夕立みたいにドーツと降つてからりと晴れ、又雲が來て暗くなり風が吹いて雨が來ると云ふやうなことが、1日のう

ちに何回となく繰返されて雨が降つて居るのであります。10月末にはその雨が上りまして、翌年4月の末迄は殆ど雨が降らないのでございます。その雨の降らない乾燥期の12月から1月2月と云ふ時が一番ビルマの氣候の良い時でありまして、ラングーンの町でも真夜中にドライヴしますと65度位の温度に下りまして一寸寒さを感じるのであります。日中は80度90度になりますけれども、夜は凌ぎ易いので、私共はビルマの春として居ります。將來皆様方が御視察に行かれます時分にはその頃が一番良いと思ひます。それから3月4月は眞夏と申しませうか、本當に暑いのであります。是は本當に暑くて、外を見ましても陽がギリギリ上つて居るやうな感じがしますし、それからラングーンの市中のアスファルトの上など、私共は靴を穿いて居ても足の裏をやけどする様な感じがする程暑いし、或は馬車馬が日射病で斃れると云ふやうな暑さがあります。が併し非常に空氣が乾燥して居りますのでちよつと木蔭に入るとか、煉瓦造りの壁の厚い家に入りますと、中は非常にひんやりして居ります。それはラングーンを標準として申しました氣候でありますが、シャンステートに参りますと、雨期は矢張り6ヶ月、乾期は6ヶ月になつて居りますが、これは非常に氣候の良い所で日本の春秋と殆ど變らない。12月頃に参りますと櫻の花、桃の花が咲いて居ります。野菜でも何でも日本のものの様なものが栽培、煙草もよく出来て居ります。このシャンステートと云ふ所は非常に日本人には適した所であると思ひます。それから北の方バーモからミチナの方に参りますと12月1月になりますと原住民は皆火を焚いてあがつて居ります。それから日本から輸入されて居るバス・タオルは向ふではバス・タオルには使はないでブランケット代りに原住民は皆巻いて居ります。さうして私共がハーツと息を出して見るとそれが白く見える位であります。非常に北の方に参りますと雪も霜も降りませぬが、非常に寒い所になつて居ります。それから南のマンドレーと云ふ所に参りますと、マレー半島と同じやうになかなか暑いのであります。これで大體に於てビルマの氣候は日本人には適して居るかどうかと申しますと、私に自由に言はせて貰ひますれば日本人に適した所と言はれ得ると思ひます。さつき御話もありましたが、行く人の都合に依つて氣候が變る。會社の出張された人などはこの邊の氣候は悪いなど言つて早く歸りたがりますが、私のやうに此處で働いて食はなければ食ふ所がないと云ふことになりまして、もう觀念から非常に良い所と考へて居ります。どちらから考へてもさう悪い所ではないのであります。

それから都會でございまして。都會は御承知の通りラングーンと云ふのが首府になつて居りまして、是が一番大きいので、町は殆どビルマの町と云ふのでなくヨーロッパの町と云ふか、半分は華僑の町かと云ふやうに、もうヨーロッパ式の煉瓦造りの建物ばかりになつて居ります。それからその外に地方にマンドレーと云ふのが第二の都會でございまして。これは以前の首府で、ビルマの最後の王様の王城の地でございまして、とても道幅などは廣い所でありまして、夜がとても暑い所で、丁度京都のやうな工合で、周圍が山でございましてとても暑い所でございまして。皇軍が4月の一番暑い時にマンドレーへ行かれたと云ふことを新聞で拜見致しまして、どうしてあの暑い所を能くも行かれた事かと考へられた程暑い所でございまして。併し御無事にあすこを御占領なさつたと云ふことは實に喜ばしい事でありまして。その次に大きい町がモールメンでございまして。その他ダボイ及びマガイと云ふやうな所もあります。一體南の方のテナサレム州はタイ人の話を聞きますと昔はタイ領であつたと云ふ話でありまして、ビルマ人に聞きますと元はビルマ領だつたのをシヤムが奪つたので、取返したのだと云ふやうなことを言つて居ります。どちらが本當かどうか分りませぬけれども、シヤム人の市街らしいものが澤山あります。その次にバセンと云ふ町でございまして、これは米を輸出する所ですから相當大きいのでございまして。その他バーモとか云ふやうな小さな都會がございまして、それはそれ位にして置きます。

その次は産物でございまして、ビルマで一番出るのは御承知の通り米でございまして。その米は二毛作でも三毛作

でもなく、ほんの一毛作で、而も植ゑつ放しの覆つ放しと云ふものであります。簡単に申上げますと5月初めに雨が降り出します。さうすると今迄コンクリートのやうに固くなつて居た田圃が柔くなります。さうすると牛を入れて耕してバラ撒きにすると、或は苗代を作つて移植する2方法がありますが、兎に角それだけの地面に植ゑるばかりで、田に肥料もやらなければ田の草も取りませぬ。水はうまく雨が降つて呉れるので、自然に大きくなつて雨期の上る10月の末から11月の初めに掛けて熟れ始めて來ると云ふので、本當の植ゑつ放しの覆つ放しと云ふやり方で、戦前迄はそれで650萬tの米が穫れて居りました。そのうち250萬~300萬tを自國消費に充て、後の400~350萬tを海外に輸出して居ります。それで世界の米の取引高と云ふものは丁度700萬t位だつたさうでありますが、さうするとビルマは世界の米の取引高の半分を出して居りました。それで米が兎に角ビルマの一番大きい産物であります。その次は石油でございます。米は主としてイラワジ河の兩岸であります。石油はイナujanを中心にしてイラワジ河の兩岸上下から年に105萬tばかり出て居ります。この石油は非常にパラフィンの多いものでありますから、私共が居りました時に日本に輸出する計畫を立てましたが、多は鐵管を通る時分に凍つて詰るからと云ふので原油の取引は出來なかつたのでございますが、油の質は大變良くて、硬度の良いガソリンも取れると云ふことでありますから、今は破壊されて居りますけれども、恢復された時には非常に日本の爲に役に立つと思ひます。その次はチークでございますが、是はタイ國にも出て居りますが有力なビルマの資源ださうであります。是も相當に良い物が出て居ります、日本には餘り高くて商賣はなかつたのであります。殆どヨーロッパの造船の材料とか或は家具を作る爲にヨーロッパに大變輸出されて居りました。それで斯う云ふチークなんかは政府が獨占してやつて居るので、一般民間には殆どこの商賣は許されなかつたのであります。各自分の屋敷内にチークの木が生へて、是は政府の財産で、そこに居る方が勝手に伐取ることが出來ないと云ふことになつて居ります。英政府では伐取りますと直ぐ植林を致しますが、30年位経ちますと又伐れるやうになつて居ります。今ありますチークは30年何百年も経つて居るが、是をチビチビ伐つて一度には伐つて居りませぬ。それからその次には鉛が澤山あります。是はジャンステートに澤山取れます。それからビクトリアポイント、モールメン、ダボイ、マガイと云ふやうな所にはタングステンとか錫が澤山あります。それから此處にも原鑛石がありますが、寶石の翡翠が支那の産物のやうに申されますが、原石はこの上ビルマに出て居ります。それで支那で加工して支那の産物のやうに言はれて居るが、實はビルマのものであります。それからサファイヤとかルビーとか何とか云ふ寶石も出て居ります。それから米と同じやうに豆も澤山出來て居ります。それで戦前には日本に輸入されて、餡會社の餡と云ふものはビルマの豆で作られて居りましたそうです。それから棉も相當穫れます。今15~16萬俵穫れて、その中の12~13萬俵は日本に輸出されて居りました。今度は日本で棉の栽培を澤山やるとか云ふことで、大計畫を爲さつて居るさうであります。棉が澤山穫れます。それから漆だとか胡麻だとか日本に似たやうな産物も澤山出るのであります。

それから次に宗教でございますが、是はもう皆様新聞等でも御覽になつた通りビルマと云ふ國は佛教國でございまして、南方佛教と申しますか、小乗佛教で、日本の大乘佛教とは少し違つてゐるやうであります。ビルマ人が申しますには日本の佛教は佛教ではない。ビルマの佛教が本當の佛教だと言つて居りますが、どう云ふ見地に立つかと云ふと、小乗佛教は戒律が嚴しくて、坊さんは實に嚴重にその戒律を守つて來て居ります。所が日本では御承知の通り、お坊さんでもお嬢さんを持つ、お酒を飲む、魚を食べると云ふやうなので向ふの人が見ますと實に異様に感じてあれは坊さんではないと云ふやうなことを言はれて居ります。非常に佛教の戒律のやかましい坊さんであります。この坊さんは227戒律を守つて居ります。その一、二を申しますと、12時過ぎると物を食べない、

お金を觸らないと云ふやうな色々なことをやつて居ります。ビルマの坊さんは 12 時過には物を食べないのです。朝托鉢に行つて御飯を戴いて来てそれを食べますが、12 時過には水は飲みますが、物を食べると云ふことはちつともやらないで、それから先は読經をするとか、學問を習ふとか、或は寺小屋式に子供を教へてやると云ふやうなことで本當に物を食べませぬ。それはどう云ふ譯か知れませぬが、227 と云ふ戒律を守つて居ります。此處に持つて参りました人形は尼さんでありますが、斯う云ふ風な格好をして居りまして、是は非常に多いのです。坊さんが 25 萬人居ります。尼さんのもつと多いのです。この尼さんは戒律が 300 幾つもあるつて、坊さんよりもつと戒律が多いのです。私の郷土から尼さんが 1 人ビルマに参りまして、私は向ふの尼寺に紹介しましたが、1 週間ばかり居まして歸つて來まして、とてもやかましくて勤まらないと言つて歸つて來ましたが、それ程戒律がやかましいのです。頭の上にはこのボンを乗つけて居りますが、物を貰つた時に其の盆に入れ置くのであります。それから金持の家の娘さんが尼さんになつて居る人が多いのであります。女が非常に多いので女護の國だと言はれて居りますが、女が非常に多いのです。従つて女がなかなか働いて居りますから餘程男より權利が強くて威張つて居ります譯です。それで男と生れて参りますと新聞にも書いてありますやうに、必ず一度は僧籍に入つて、頭を刺つて托鉢してお經を読む。それに依つて始めて一人前の人間になると云ふことはビルマの佛教の昔からの教であります。さうして坊さんが寺小屋式に村や近村の女子供を集めまして讀み書き算盤を教へて居るのでございますから、ビルマ全體に讀み書きの出來ないと云ふビルマ人は少いのであります。この點は印度より非常に進んで居ります。讀み書き算盤の出來ると云ふことは非常に進んで居ります。それは佛教のお蔭でございます。それで佛教のお蔭でビルマ人の教育と云ふものが非常に以前から普及されて來て居るのでございます。

それから風俗でございますが、ビルマには色々種類がありまして違ひますが、先づ普通ビルマ人と申しますのは、皆斯う云ふ風な格好(人形を示す)を致して居ります。これがビルマの紳士の服裝でございます。この腰に穿いて居りますのはビルマではロンギイと申しますが、丁度日本の腰巻のやうなもので全然丸い輪になつてゐるのであります。上のジャケツは支那人のジャケツのやうなものであります。それから昔はビルマ人は男も女も總髮で同じやうにして居りました。それで男の方は斯う云ふ布れをやつて、頭髪をぐるつと結んだ上に被つて居ります。女の方はショールを掛けまして、頭だけ櫛を中に入れて綺麗に巻き上げて居ります。これが女の方の服裝でございます。所が最近では男の學生なんかは頭は散髮致しましたので、頭に引つ掛りがありませぬので布の巻き方がやりにくくなりましたので、最近では斯う云ふ帽子が出來て居りまして、布を巻く代りにこの帽子(丁度頭に布を巻いたやうな格好の帽子)を玄關に置いて外出の時にはちよつと被ります。この間新聞にパーモ博士と云ふ委員長の寫眞が出て居りましたが、矢張り斯う云ふ服裝をして居りましたが、禮服の時には袖が非常に小さいものになつて居ります。それで禮服の場合は御婦人の物でも非常に袖が小さくなつて羽根が付いて居ります。履物は日本と同じやうに雪駄を穿いて居ります。この雪駄はビルマで出來たもので、右足は右足、左足は左足で左右を交互に穿くことは出來ません。斯う云ふ所は日本の草履と違つて居ります。

それからビルマ人はどう云ふ家に住んで居るかと申しますと、是は貧富に依つて非常に違ひますが、先づ下から申しますと、先程御話のありました西瓜畑の番人小屋みたいなものに住んで居るのが下層民で、田舎に参りますと非常に竹の多い國ですから、竹でもつて柱や屋根を拵へ、天井は木の葉で出來て居ります。マンダレーの攻略の時に寫眞が出ましたが、一遍に焼けてしまふやうな貧弱な家に住んで居ります。少し申流になりますとチーク或はピンガドーと云ふ堅い木を柱にして、板で屋根を葺いたり床を張つたりして居ります。それが段々今日になつて参りますと煉瓦造りにして一戸建の家に住んで居る者もありますが、先づビルマの家と言つたら竹の柱に茅の屋

根、少し良い物は材木の柱で材木の壁、材木の屋根でやつて居るのが普通であります。元々のビルマの住居と云ふものはさう云ふものであります。

それならビルマ人はどんな物を食べて居るかと申しますと、先程申しましたお米が澤山出来たから勿論お米が主食であります、一日二食であります。さうして御飯の炊き方も非常に日本では研究して炊きますが、向ふでは日本とまるで違ひまして、先づ洗つてから炊きまして、煮立つて來ました時分に杓子で掻廻して、すつかり汁を捨て、しまつて、トロ火にしてちやんと蒸炊きにして炊くと、ふつくらした御飯が出来て居ります。おかずはよく辛い物を食べるだらうと聞かれますが、印度人のやうな辛い物は食べませぬ。殆ど日本の料理に似たやうな物を食べます。例へば酢の物だとか、或は天ぷらだとか、鹽鮭鰯魚と云ふやうな物を食べます。私が向ふに参りましてビルマ語を習ふ爲に坊さんのお寺に2ヶ年修業しましたが、食事もお米と同じものでやつて居りましたが、ずつと簡単なものを食べて居りました。

それから次に一體ビルマ人と云ふものはどう云ふものかと申しますと、一口にビルマ人と申しますけれどもその中には8種類ありまして、着物の着方から言葉からまるで違ふのであります。1941年の調で1640万人の人口のうちビルマ人が1400萬程ありますが、その中の1000萬と云ふのがこのビルマ人でありまして。それからシヤンステートに住んで居りますシヤン人と云ふ、是はシヤム方面から來た人でありまして。それが100萬人、それからシヤンステートの手前の少し北にカレンと云ふ人種の違つたものがあります。是は130萬、それからその外に北の方の山嶽地帯に住んで居りますチン族とかカチン族とか、或はウハーとか云ふやうな變つた民族が居ります。ウハー族のやうなシヤンステートと境して住んで居ります者は今日でも尙首狩りをしたりして居る人種です。先づ今日のビルマ人はこのビルマ族が普通で、今非常に働いて居る種族は何處に居るかと申しますと、アラカン人と言ひまして印度のベンガル界に住んで居ります者で（一ビルマ族）、是には非常に知識の發達した者が居ります。今日このアラカン人と云ふのが非常にビルマ人の中樞を占めて居ります。それからビルマ人は國が惠まれて働かなくても宜かつたので働かない者が多く、兎に角悪く言へば怠け者と云ふ批評が付くやうであります、非常に氣力がありまして、排外的思想が非常に強いのです。だから西洋人とか或は印度人、支那人とか云ふやうな者を追つ拂ひたいと云ふ氣風は、大東亞戦争前に非常に漲つて相當に言はれて來ましたが、それをよく考へて見ますと、その排外思想、それは宜しうございますが、實は個人的排外が非常に多くて、ビルマ人同志でも協力が無い。1人の人が役人になると、それを排撃して自分の意見通りにやると云ふので纏りが付かないと云ふので、排外思想の良い所と悪い所をビルマ人が有つて居ります。それですから是からの日本との協力と云ふのも、うるさい反對が現はれるだらうと思ひます。それから人間は宗教のお蔭で非常に親切です。何處に行きましても宿屋もなければ、レストラン、飲食店と云ふものはビルマ人のものはありません。何處に行きましても食はせて呉れ、泊めて呉れます。その點は面識があるなしに拘らず、佛の慈善事業と云ふやうな關係で何處に行つても親切にやつて呉れます。皇軍が行きましてビルマ人が協力すると言ひますが、ビルマ人も日本に慕ひ寄つた譯であります。放送局、ラヂオでもあの1年前からビルマ語を以て非常に宣傳をして居りました。私もそれに關係してをりますがビルマにビルマの言葉で外國から放送されてゐるのは日本が初めてだと云ふので、それが日本と云ふこと、それから宗教が同じ宗教だと云ふことを言つて居ります。それから支那人を嫌ひ、印度人を嫌ふのですから、皆嫌つてはいけぬ、日本人は好くと云ふ。好く原因は日本人は支那人のやうに金儲けをしませぬ。結局我々は詰らないと言ひますが、先生方の生活を脅威しない。地面の6割は印度人の名義になつて居ると云ふのでビルマ人が印度人を嫌ふ。日本人はさう云ふことをやませぬから嫌はれませぬので、今日の協力のあるのは當然のことだと思ひます。それからも

う一つは非常に権利の主張が多いのです。理窟が多い。だから私は今後は日本から色々な御役人が行きまして、剣を下げて居る間は、向ふがどんなに理窟を言つても差支へない。これはいかぬと思ふなら剣をガチャガチャいしたらそれで頭を下げませうが、剣がなくなつた時分はなかなかやり難いと思ひます。語學と云ふものは、ビルマ人はビルマ語は勿論、印度語にしる、日本語でも少し習へば直ぐ話すことが出来ます。彼等はさう云ふ頭を有つて居る人間だから愈々喧嘩した時の話になつたら日本人の方がやり捲られやしないかと云ふことを心配して居ります。今迄偉い御役人になつて居たビルマ人はどんなことをしたかと申しますとロンドンに行つても法律學等のものを勉強して法學博士、辯護士等になつて居る者が澤山あります。さう云ふ者を英國でも歓迎します。ビルマに歸つても就職率が良かった。辯護士をやつても相當の収入があつた。それであるから理窟を言ふと云ふことに就ては迎も我々の及ぶことが出来ないやうな頭を持つて居るのです。それでさう云ふ點に就てもビルマ人と云ふものに就て考へなければならぬ。それから非常に執念深いのです。イギリス政府でも初めはビルマ人を兵隊にしましたが、ビルマ人が英國人の將校に怒られますと、夜石をぶつかけたり何かします。それから私も一度經驗しましたが、或時汽車が衝突遭難した事がありました、その時に直ぐその横の村のビルマ人が強盜になりまして、死んだ人の齒を缺いて金齒を奪るとか、腕を切つて腕輪を奪るとか、指輪を指を切つて奪ると云ふやうな残忍性を帯びたことをやつたのであります。さう云ふ性質もあります。それから戦争前の新聞を見て居りまして、強盜、殺人と云ふやうな裁判が迎も頻繁で、さう云ふ點は誠に悪い好ましくない所であります。それで今後大いに提携して行くにしても、さう云ふ點に十分氣を付けて行かなければならぬ。それから戦争がなかなか好きです。喧嘩好きですが、いつも何と言ひますか、ゲリラ戦と申しますか、向ふから来る迄は行かないで、向ふがこつちに来る迄はじつとやつて、來たらワツと出てやつつけて、又外に行つて待つて居ると云ふやり方で大々的に攻撃して行くと云ふことはやりませぬ。これはイギリスとの戦争の話ですから、武器に於て非常に差があつたから已むを得なかつたのかも知れませぬが、さう云ふ陰險的のやり方がビルマ人には相當多いと思ひます。それから貯蓄心がないのです。これは日本人によく似て居ると申す人もありますが、宵越しの金は使はないと云ふか、金を蓄める必要がなかつたのかも知れませぬが、1圓儲かると1圓使つてしまいます。今日1圓収入があつたら翌日は休んで、それがなくなつたら又出ると云ふやうなやり方をやつて居ります。併しながら仕事はさあと云ふ場合は非常に敏捷にやります。例へば粟、靱などを天日に乾してゐたが、雨が降つて來たから入れると云ふ時にはビルマ人はサッサとやつてしまひますが、印度人にはとてもさうは出来ませぬ。併しビルマ人に毎日それをやれと云ふことは一寸不向きかも知れませぬ。さう云ふ點が印度人とビルマ人に差がありますが、結局ビルマ人の怠け者と評せらるゝ事は此の様な點だろうと思ひます。さう云ふビルマ人には缺點もありますが併し良い所は褒めなければならぬ。又褒めるやうにならなければならぬが、非常に缺點も多いのですから、今後ビルマ人と接するにも餘り丸馴れをしてはいけませぬが、可憐な自分方の同胞だと云ふやうなことで知つて行かなければ、私は非常な間違が出來て來やしないかと云ふことを思つて居るのでございます。

それから次にビルマに於ける印度人でございますが、是は非常に多く100萬以上も居るのでございます。金持も労働者も商賣人も洗濯屋も印度人であれば掃除屋も印度人で皆やつて居り、ビルマ人はさう云ふことはやつて居りませぬ。お役人、官吏、それから大部分がお百姓だと云ふのですが、田舎に行けばお百姓より外は出来ませぬからやつて居るので、殆ど工業的のことや、労働的のことで時間があつて何時迄に之をやらなければならぬとやかましく言はれるやうなことは殆どやりませぬ。却つて印度人を使つて自分の方は威張つて居ります。その點は優越を感じて居ります。印度人や支那人に掛つては駄目で、あんな汚い掃除は印度人にさせなければと威張つてゐま

すが、その印度人が 100 萬人も入つて来て、金貨の如きはビルマの銀行の如き一役を勤めて居りますが、是がマドラス方面から来て居る印度人ですが、非常に便利のいゝもので、今では印度人が金を貸して土地を取つたと云ふことを恨んで居りますが、なかなか便利にやつて居ります。我々が銀行に行きましても、どんな風に金を返すとかんたとか言つてなかなか貸して呉れませぬが、この印度人の所に行きますと、この荷物の取引爲替を取るから金が要ると云ふと、直ぐその場で金を貸して呉れます。尤も利子は少し高うございますけれども簡単に貸して呉れます。さう云ふ簡単な銀行業をやつて居ります。是が大變な金を貸して、ビルマ人は今迄氣が付かず非常に便利なものと感じて居りましたが、愈々借金が殖えて返せなくなつた時分に目を開けたのです。土地も取られてしまつた。家も取られてしまつたと云ふので 1930 何年でしたか印度人排撃が始まりました。それ迄は非常に威張つて利用して居ましたが、所謂威張つて居るうちに尻の毛も抜かれてしまつたと云ふのです。印度人の中でも色々種類がありまして、勞働者、船乗りと云ふやうな所から、商賣人は所謂ボンベイ商人と云ふて、彼等は華僑を相當に恐れますが、私は却つて印度人の方が恐ろしいと思ひます。先程華僑の御話もありましたが、ビルマに居る華僑程日本に對して理解を持ち、日本に對して協力をする者は大東亞共榮圏内には私はないと思ひます。インドネシアンもフィリッピン人も協力して呉れなければ困りますけれども、支那が協力して來れば、先生方の協力は少くとも大東亞共榮圏の建設が進むことと思ひます。支那人はよくして呉れます。マレー半島、ジャバア、スマトラ方面に行かれた方に聞いて見ても、個人的交際で缺點の打ち所のない者が多く、却つて日本人の方が顔負けする位ですから、華僑を虐めないで利用して行くやうにしなければいけませんと思ひます。印度人の方はどうなるか知れませぬが、將來平和が來た時分には、印度人が一番先に立つて働くが、それに對抗するには日本人だけでは對抗出來ませぬから、之に對抗するには華僑より外にありませぬ。華僑と印度人と對抗して居りますれば丁度宜い加減に之を調節することが出來ると思ひます。ビルマには華僑は戰前には 24~25 萬位しか居りません。尤も重慶政府が援蔣ルートを拵へましてから著しく來まして、飲食店とか何かが殖ゑたさうであります。大體 24~25 萬しか居りませぬ。それでは何處から來るか云ふと、北から來ると云ふのが常識ですけれども、多くの華僑は南から來て居ります。ベナン、シンガポールあたりから來た人が多いのです。先代は純支那人かも知れませぬけれども、今日では殆ど混血兒になつて、着物は男に生れて來ると支那の服を着て居りますが、女と生れて來ますと、ビルマ人を妻君にした者は支那の風はちつともして居りませぬで、女の兒にはビルマ人の服裝をさせて居ります。それで男丈けは祖國を偲ぶ衣服を着て居りますが、性質そのものは一種の南洋支那人と云ふやうな別の變つた型になつて居ります。支那内地に於ける支那人と同じやうには考へたくないと思ひます。あれだけで私は十分に日本に協力する素質もあるし、實力もあるし、日本もあれを利用して行つたならば、平和の時代に於ける商戰に於てもさう失敗なくやれると思ひます。

それで結論に於てビルマと申します所は、氣候もそんなに悪い所でなく、ビルマ人も日本に對して左程悪くはないのですが、餘り多く日本人が行つて原住民の生活を脅かすと云ふことは、是は非常に考へなければならぬと思ひます。支那人、印度人があんなに多く入つて行つてビルマ人の生活迄脅かすことをした爲に憎まれたのです。英國人はビルマの國を治めるのに 300 人と言はれますが、軍隊が多くて官吏は本當に少いのです。マレーの鐵道英官吏は 80 何人よりなかつたと言ひますが、ビルマの鐵道なんかでも西洋人は非常に少いのです。

茲に私は既に東洋から英米人が居なくなつたから同時に搾取とか壓迫とか云ふ言葉は必要なくなりました。これからあまり斯様な言葉は使わねがよいと思ひます。

もう一つ私が申上げたいことは、今非常に原料が南洋各地方に澤山あるが、それで向ふに持つて行つて工場を作

り、色々なことをやると云ふことは或程度迄はいいが、絶對的にそれにしまつて日本を空にしては、今後の平和戦争の時分にはいいが、又一旦戦争のやうなことが起つた時分には、日本には何もないことになつて、向ふは向ふで作つてしまつて、日本は商賣で言ふと儲ける材料がなくなつてしまふと云ふことになるから、矢張り原料を日本に持つて歸つて日本で製造する。向ふは原料だけでは役に立たない。どうしても日本に送らなければならないと云ふことを考へさせた方が、將來永遠の策に對してよくはないかと考へます。時間も參りましたので甚だ簡単に申譯ありませぬが、是で終ります。

がマ
云ふ
けと
ら金
呉れ
利な
まつ
つて
々種
當に
僞程
アン
も大
に行
すが
ませ
出來
滅に
府が
か居
ら來
、今
マ人
れで
なつ
に協
さう

はな
思ひ
、英
道英

こ

を作